



習志野市長
宮本 泰介

【プロフィール】

昭和 48 年 1 月 19 日生まれ
習志野市屋敷 3 丁目出身・在住

【経歴】

習志野市内の病院にて出生
習志野市立屋敷幼稚園卒園
兵庫県西宮市立甲東小学校卒業
習志野市立第六中学校卒業
八千代松陰高校卒業
秀明大学政治経済学部卒業

平成 11 年 5 月～平成 23 年 4 月
習志野市議会議員(3 期・12 年間)
※第 28 代習志野市議会副議長
平成 23 年 4 月～現在
習志野市長(3 期・10 年目)

【趣味】

野球、ゴルフ、海釣り、富士登山

「未来のために

～みんながやさしさでつながるまち～

習志野」

昭和 29 年 8 月 1 日、千葉県で 16 番目の市として誕生した習志野市は、面積は県内 37 市で 2 番目に小さいながらも約 17 万人が生活をする人口密度が県内で 3 番目に高いコンパクトな市です。このような規模のメリットは、市全体を議論する多くの会議で、マイクを使わずに議論でき、何かあった時にも小回りよく駆けつけることができ、市民一人ひとりの顔が見えることです。

昭和 45 年に、まちづくりの基本理念「文教住宅都市憲章」を制定し、都市と自然が調和したまちづくりを目指し、歩んでまいりました。特長ある教育、地域で支える子育て、盛んなスポーツ活動、心躍る音楽、活気あるイベント、身近な自然環境、安心な防犯制、高い地域防災力などは、地元を愛する方々の強い結束力で培われた習志野市の伝統です。

また、県内初となる核兵器廃絶平和都市宣言、谷津干潟の日本初となるラムサール条約登録、国内でも先進的な取り組みであるこども園の設立や、公共施設再生計画の策定など、全国に先駆けた施策を意欲的に行い、新しいまちづくりの音がハーモニーとなって聞こえる「あしたの和声(ハーモニー)が響くまち」でもあります。

習志野市は少子高齢化が進展する時代に伝統を重んじながら改革を進め、今後も「住んでみたい、住み続けたいまち」として選ばれ続けるまちづくりを目指してまいります。

市政運営の原動力は職員です。

豊かな市民生活を実現するためには確固たる基盤が必要です。

その原動力は職員です。結束力が発揮できるコンパクトな街・習志野で、ダイナミックな仕事にチャレンジしよう！